

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ	
-----------	--

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズあざみ野園	種別：認可保育所	
代表者氏名：高杉 貴子	定員（利用人数）： 60名（利用者：60名）	
所在地：〒225-0003 横浜市青葉区新石川 1-2-10		
TEL：045-903-5522	ホームページ：https://www.gkids.co.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2014年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社グローバルキッズ		
職員数	常勤職員：16名 非常勤職員：8名	
専門職員	（専門職の名称） 名 管理栄養士：1名	
	保育士：16名 栄養士：1名	
	保育補助：1名 調理師：1名	
	看護師：1名 調理員：2名	
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）	
	保育室：6室 園庭：有	
	トイレ：5ヶ所	
	調理室：1室	
	事務室：1室	
沐浴室：1室他		

③理念・基本方針

<p>【保育理念】</p> <p>豊かに「生きる力」を育てる</p> <p>一人ひとりの子どもが、かけがえのない人生を豊かに歩いていくために、その人生のスタートである乳幼児期を『愛おしい存在』として認められ、その『命』を守られ、『心地よくいきいきと生きる』こと。</p> <p>グローバルキッズは、これが最も重要であると考えています。</p> <p>子どもの気持ちを尊重し、受け止め、認めることで、子どもは『自己』を十分に発揮します。</p> <p>そして周りの人への信頼感が育ち、『自分は大切な存在』であることを感じ取って行きます。</p> <p>子どもたちが日々の生活をとおして、『自分を大切に』『人を大切にする』という人として大切な力が育っていくよう、丁寧に、広い視野と客観性を持って保育を行います。</p> <p>【保育目標】</p> <ul style="list-style-type: none">・感謝の心を大切に、素直な気持ちを育む・自分でやりたい事、好きな事を見つけてワクワクして過ごす <p>【保育方針】</p>
--

- ・気持ちによりそうぬくもりある保育
- ・魅せる保育
- ・多くの経験（体験）が共有できる保育
- ・好奇心探求心が芽生える保育

④施設・事業所の特徴的な取組

食育活動を大切に、園庭での茄子、稲、ゴマ、ミニトマト、栽培に力を注いだ。収穫した食物は保護者の同意を得て、昼食やおやつで提供した。

園庭もあり、午前午後の時間を問わずに、戸外遊びを楽しむことができる。近くにたくさんの公園があるため、お天気の良い日は散歩に出かけている。春は様々な草花に触れ、秋はドングリや木の実の観察を楽しんだ。昆虫にも親しみ、公園ではバッタを見つけて観察をした。

園内では、カブトムシを卵から育て、名前をつけて、いとおしく飼育している。

電車を見に行くことが大好きな子どもたちが多いため、線路沿いの散歩は好評である。

幼児クラスは月に1回ネイティブの英語講師が来園し、リズムに合わせた英語遊びを楽しんでいる。

近隣のスポーツクラブから、体操講師も来園し、跳び箱、マットなどを使用したり、全身を動かしたりして遊ぶ体操遊びも人気である。

子どもたち個々の気持ちを大切に、集団と同じ行動をしなければならないという保育ではなく、自らが選択できるような環境を整えている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月23日（契約日） ～ 令和5年2月13日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2019年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)子どもの主体性の尊重

子どもが安心して自分のペースで行動できるように、時間的余裕を持った保育内容を設定しています。一人ひとりの子どもの発達やペースに合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣が身に付くようにしています。ゆっくり食べる子ども、靴や服の着脱に時間がかかる子ども見守ります。挑戦する環境を整え、子どもたちが自信を持てるようにしています。自信を持つことで、子どもが自分の意見を発信できるようにしています。

2)全体的計画を職員全員で話し合い策定・実践

全体的な計画は前年度の反省や課題を踏まえ、職員全員で検討し作成しています。全員参加で検討し共通理解をもって保育を行っています。園の自己評価の実施では、職員は5つのグループに分かれて検討し、その結果を園長と各リーダーが精査し、合議を行っています。園では、様々な場面で職員が主体的にかかわるような仕組みを作り、全職員が保育の実践に取り組んでいます。

3)職員の育成に取り組み、専門知識・技能の高い保育の実践

職員育成への取組に力を入れています。階層別研修や園内研修を定期的に適切に実施しています。園長は「専門リーダー資格」を推奨し、対象職員7人の内6人が資格取得しています。中堅職員には「職務分野別リーダー資格」等の研修を推進し、保育の

質の向上や、チームビルディングに努めています。職員の勤務シフトを調整し、研修受講できる体制があります。園長は新入職員をフォローしています。

4) 地域との交流・貢献

園では『地域に開かれた子育て支援』として「園庭解放」をしています。園長や看護師が担当となり、「育児相談」も実施しています。自治会に加入していますが役員との連携がなく、コロナ禍でもあり、行事での交流もない状況です。今後、地域イベントへの参加や育児相談会、感染症・食育・虐待などの学習会等、公益的な活動の実施が期待されます。地域の幼・小・中・高の保育・学校関係者や行政関係者との連携を継続し、交流に取り組むことも期待されます。

5) 職員休憩スペースの設置

園では職員が昼食や休憩を取る部屋がありません。子どもたちが午睡に入ったタイミングで廊下等で昼食をとり、休憩を取っています。職員確保を容易にするためにも、職員がリラックスして休憩が取れるスペースづくりが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

園で大切にしていることを再確認するとともに、これからも子どもたちに楽しい保育を提供し、地域に愛される園を作り上げていくことを職員全員で考えていきます。そして、職員が自分らしく心から保育を楽しみと思えるような環境を作り、養護教育のプロとして、自信をもって過ごしていけるよう努力します。今回の評価をもとに、これからの福祉に励んでいきます。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり